

執筆者紹介

【編著者】

藤川清史（ふじかわ きよし） 名古屋大学大学院国際開発研究科教授

1959年生れ。神戸大学経済学部卒業。同大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。国連経済社会局専門職員、大阪経済大学経済学部助教授、甲南大学経済学部教授などを経て2007年より現職。博士（経済学）。専門は計量経済学、環境経済学。

〔主要著作〕

松村文武・藤川清史（1998）『“国産化”の経済分析—多国籍企業の国際産業連関』岩波書店。

藤川清史（1999）『グローバル経済の産業連関分析』創文社。

藤川清史（2005）『産業連関分析入門』日本評論社。

【執筆者】

尹 清洙（いん せいしゅ） 長崎県立大学経済学部准教授

1970年生れ。（中国）東北大学管理学部卒業。京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。長崎県立大学経済学部講師を経て2010年より現職。博士（経済学）。専門は計量経済学、中国経済論。

〔主要著作〕

尹清洙（2003）「中国経済のマクロコントロール」, 大西広・矢野剛編『中国経済の数量分析』世界思想社所収, 第4章, 106-126。

金澤孝彰（かなざわ たかあき） 和歌山大学経済学部教授

1964年生れ。大阪市立大学経済学部卒業。同大学院経済学研究科後期博士課程単位取得退学。和歌山大学経済学部講師。在上海日本国総領事館専門調査員（外務省嘱託）、和歌山大学経済学部助教授、同准教授を経て2014年より現職。専門は現代中国経済論。

〔主要著作〕

佐々木信彰・田畑理一・金澤孝彰共編訳（1991）『中国産業連関表—資料と解説』晃洋書房。

Kanazawa, T. (2005), “The Differential Factors of Regional Development in China : A DPG Approach,” in Okamoto, N. and T. Ihara (eds.), *Spatial Structure and Regional Development in China: An Interregional Input-Output Approach*, Palgrave Macmillan, Ch 5, 69-100.

金澤孝彰（2007）「中国経済の発展と外資の役割」, 岡本信広・桑森啓・猪俣哲史編『中国経済の勃興とアジアの産業再編』（アジア経済研究所研究双書No.563）所収, 第1章, 25-66。

佐々木信彰監修, 辻美代・許海珠・金澤孝彰編『中国の改革開放30年の明暗—とける国境, ゆらく国内』世界思想社, 2009年。

姜 美松（きょう びしょう） 名城大学大学院経済学研究科博士後期課程

1979年生れ。静岡英和学院大学人間社会学部卒業。名城大学大学院経済学研究科修士課程修了。専門は環境経済学。現在の研究テーマは日中韓の水資源管理政策の比較分析。

〔主要著作〕

姜美松（2013）「北京市の水資源管理対策の現状と課題—流域ガバナンスの視点から」『名城論叢』, 14（2）, 69-83.

金 継紅（きん けいこう） 東華大学旭日工商管理学院准教授

1969年生れ。（中国）吉林大学歴史学部卒業，横浜国立大学大学院経済学研究科博士前期課程修了，同大学院国際社会科学研究科博士後期課程修了。北京師範大学经济与資源管理研究院准教授を経て2010年より現職。博士（経済学）。専門は地域経済学，産業経済学。

〔主要著作〕

张琦・侯军岐・金继红（2007）『城市经济学』中国经济日报出版社。

下田 充（しもだ みつる） 日本アプライドリサーチ研究所主任研究員

1969年生れ。明治大学政治経済学部卒業，帝塚山大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。日本アプライドリサーチ研究所研究員を経て2013年より現職。専門は計量経済学，産業連関分析。

〔主要著作〕

下田充・藤川清史（2012）「産業連関分析モデルと東日本大震災による供給制約」『産業連関』，環太平洋産業連関分析学会，20（2），133-146。

渡邊隆俊・下田充・藤川清史（2009）「東アジアの国際分業構造の変化—付加価値の究極的配分」，森島寿編『東アジアの経済発展と環境政策』ミネルヴァ書房所収，第1章，21-39。

張 鴻（ちょう こう） 上海对外経貿大学教授

1964年生れ。（中国）上海華東師範大学地理学部卒業，名古屋大学大学院国際開発研究科博士後期課程修了。2001年より上海对外経貿大学国際経貿学部講師，同准教授を経て2009年より現職。博士（学術）。専門は国際貿易論。

〔主要著作〕

张鸿（2010）『中国对外贸易的动态优势变化与外贸增长方式的转变』人民出版社。

张鸿（2006）『区域经济一体化与东亚经济合作』人民出版社。

张鸿（2006）『中国对外贸易战略的调整』上海交通大学出版社。

伴ひかり（ばん ひかり） 神戸学院大学経済学部教授

1963年生れ。神戸大学経済学部卒業，同大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。神戸学院大学経済学部講師，助教授，同准教授を経て2008年より現職。博士（経済学）。専門は国際経済学。

〔主要著作〕

伴ひかり（2011）『グローバル経済の応用一般均衡分析』晃洋書房。

伴ひかり・藤川清史（2010）「CO₂国内排出量取引の経済効果」，諸富徹・山岸尚之編『脱炭素社会とポリシーミックス—排出量取引制度とそれを補完する政策手段の提案』日本評論社所収，第5章，167-186。

伴ひかり（2000）「開放マクロ経済」，井川一宏・林原正之・佐竹正夫・青木浩治編『基礎国

『国際経済学』中央経済社所収、第8章、151-169.

葉 作義 (よう さくぎ) 上海対外経貿大学准教授

1977年生れ。沖縄国際大学商経学部卒業、同大学院地域産業研究科博士前期課程修了、名古屋大学大学院国際開発研究科博士後期課程修了。日本アプライドリサーチ研究所研究員を経て2012年より現職。博士(学術)。専門は計量経済学、産業連関分析。

〔主要著作〕

叶作義・张鴻・下田充・藤川清史(2015)「全球价值链下国际分工结构的变化-基于世界投入产出表的研究」『世界经济研究』上海社会科学院、2015年第1期、56-64.

叶作義(2014)「中国服务贸易对国民经济的效应分析」, 沈玉良・李墨丝编『国际服务贸易新规则』对外经济贸易出版社所収、第8章、217-244.

Ye, Zuoyi and Fujikawa, K. (2011), "An Analysis on Structural Change of Interregional Division of Labor in China", 紀宏・大西宏編『中日经济统计评论』首都经济贸易大学出版社、280-309.

渡邊隆俊 (わたなべ たかとし) 愛知学院大学経済学部教授

1969年生れ。豊橋技術科学大学工学部卒業、帝塚山大学大学院経済学研究科博士後期課程中途退学。甲南大学情報教育研究センター(経済学部付)講師、愛知学院大学商学部講師、同助教授、同准教授、同教授を経て2013年より現職。専門は計量経済学、産業連関分析。

〔主要著作〕

渡邊隆俊(2010)『地域経済の産業連関分析』成文堂。

渡邊隆俊・下田充・藤川清史(2009)「東アジアの国際分業構造の変化—付加価値の究極的配分」, 森晶寿編『東アジアの経済発展と環境政策』ミネルヴァ書房所収、第1章、21-39.